



こぶしの里にホタルの幼虫を放流する様子。児童が手にしている紙コップには3～5頭の幼虫が入っている。成虫になり、再会する日をみんな心待ちにしている。



<http://youtu.be/W6zLd-KxE2Q>



ずっと、ずっと。

# 心にふるさとの光を

放流体験は竹間沢小学校の子どもたちが楽しみにしているイベントのひとつ。学校の授業とは一味違う体験は子どもたちに大切なことをたくさん教えてくれます。



竹間沢ほたる育成会の協力で、竹間沢小学校の児童がホタルの幼虫を放流する試みが平成18年から始まりました。当初は毎年実施する予定ではなかったものの、子どもたちがふるさと三芳町に愛着を持つてくれる良い機会になると現在では恒例行事になっています。



放流を行う時期は3月下旬～4月上旬ごろ。今年は4年生がホタルの幼虫放流体験を行いました。

## ふるさとのことを知るきっかけに

このホタルの幼虫放流体験は「ふるさと竹間沢」という授業の一環として行われます。子どもたちは事前に竹間沢の歴史やこぶしの里、ホタルについて勉強してから放流体験に臨みます。

放流体験当日は竹間沢ほたる育成会からもホタルの生態についての説明があり、子どもたちは真剣に話を傾けます。初めて見るホタルの幼虫に子どもたちは興味津々。4月11日に行われた今年の放流体験の際

には「元気に大きくなるんだよ」「食べられちゃダメだよ」と声をかけながら放流していました。

## 思い出に深く残るホタルの光

昨年、ホタルの幼虫放流体験を行い、成長し光るホタルをこぶしの里で観賞した児童からは「とても感動した。きれいで元気に育ってくれたんだ」と思い、うれしかった。「自分たちが放流した時はまったく別の姿だったから、不思議な気持ち。光っている様子を見て誇らしい気持ちになった。」「空いっぱいにはホタルが光って飛んでいてすごくきれいだな」と思った。」などの感想がきかれました。

また、今年、放流を行った児童は「幼虫は少し気持ち悪かったけど、三芳町で唯一ホタルが成長できるこぶしの里だから立派に育ったところが見たい。」「成長して光るホタルを早く見たい。」など再会を心待ちにしていることが伺えました。

小さな幼虫が立派に成長してこぶしの里を舞う姿は子どもたちにさまざまなことを語りかけてくれることでしょう。その光は思い出に深く残るものになるはずですよ。

## いつまでもふるさとを大切に

放流体験を通して、子どもたちはたくさんのことを学びます。自然の大切さ、命の尊さ、地域の人への感謝の気持ち……。

今年の6月、こぶしの里で舞うホタルの光。その光には「ずっと、ずっと忘れられない素敵な体験」をした竹間沢小学校の子どもたちの想いが込められています。

ふるさと三芳町の素晴らしさを肌で感じた子どもたちは、これからのつまでもふるさとを大切にし、守り、育ててくれることでしょう。これから先もずっと、ずっと。

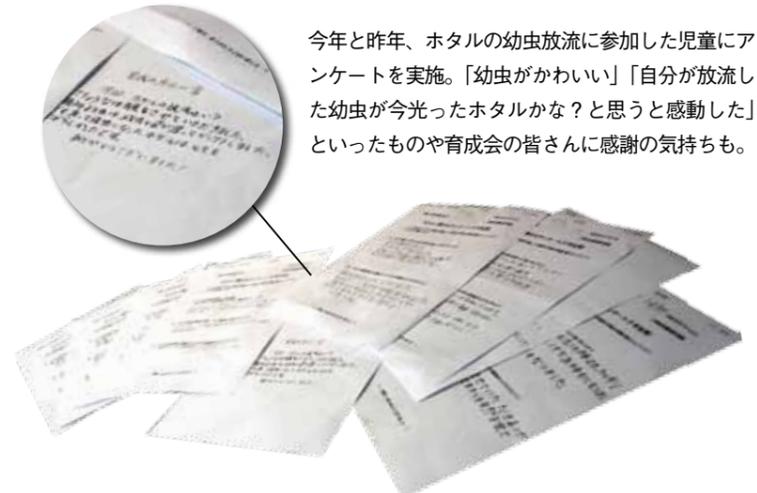
— 特集 ずっと、ずっと。 終 —

### Interview

竹間沢ほたる育成会の皆さんの「子どもたちにホタルを見せてあげたい、という熱い想いと、子どもたちに『幼虫の放流』という貴重な体験をさせていただいることに深く感謝しています。保護者からも家で楽しそうにホタルの話をしてくれたと聞きます。この体験を通して子どもたちには地域の人や自然に愛着を持ち、自分のふるさとを大切にしていってほしいですね。



竹間沢小学校 古川 慶子 校長



今年と昨年、ホタルの幼虫放流に参加した児童にアンケートを実施。「幼虫がかわいい」「自分が放流した幼虫が今光ったホタルかな?と思うと感動した」といったものや育成会の皆さんに感謝の気持ちも。



- 【観賞時の注意点】**
- ・ホタルは午後7時30分から9時ごろが活発に活動する時間帯です。
  - ・ホタルは光や音に敏感です。こぶしの里内でのカメラのフラッシュ、携帯電話の使用や懐中電灯などをご遠慮ください。
  - ・近隣には住宅があります。大きな声を出したり、周りに迷惑がかかる行為はやめましょう。
  - ・ペットを連れての鑑賞はご遠慮ください。
  - ・足元が不安定なので、スニーカー等、動きやすい格好でお越しください。
  - ・ホタルは捕獲しないでください。
  - ・路上駐車は周囲に迷惑がかかりますのでやめましょう。
  - ・見ごろは気候により変化しますので、観賞時期にご注意ください。町ツイッター、ホームページ等で状況をお知らせしますので確認の上、お越しください。

車でお越しの際は案内看板に従ってください。  
 図 観光産業課 ☎214・215